

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【公開番号】特開2007-257254(P2007-257254A)

【公開日】平成19年10月4日(2007.10.4)

【年通号数】公開・登録公報2007-038

【出願番号】特願2006-80274(P2006-80274)

【国際特許分類】

G 06 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 12/00 5 1 4 E

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月30日(2009.3.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録媒体上のオブジェクトと前記オブジェクトの管理情報とをアクセス可能な記録媒体制御部と、

前記オブジェクトを外部装置と送受信する送受信部と、

前記送受信部を介して、前記オブジェクトを識別する際に、前記記録媒体上における前記オブジェクトの管理情報の論理ロックアドレスを含む識別情報を用いる制御部と、
を備える電子機器。

【請求項2】

前記オブジェクトは、画像データである

請求項1に記載の電子機器。

【請求項3】

前記管理情報は、

前記記録媒体上に構築されたファイルシステム仕様に基づく、前記画像データのディレクトリエンタリの論理ロックアドレスを含む

請求項1又は2に記載の電子機器。

【請求項4】

前記画像データを少なくとも前記識別情報を用いて管理している間は、前記画像データのアクセス属性を、読み出し専用とするよう制御するアクセス制御部を、

さらに備える請求項1から3の何れかに記載の電子機器。

【請求項5】

前記識別情報は、

ピクチャトランスマネージャプロトコルのオブジェクトハンドルである

請求項1から4の何れかに記載の電子機器。

【請求項6】

オブジェクトを識別情報により管理する工程と、

前記識別情報の少なくとも一部のフィールドに、前記オブジェクトについての管理情報の記録媒体上における論理ロックアドレスを記述する工程と、
を含むオブジェクト管理方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】電子機器、及びオブジェクト管理方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

本発明の電子機器は、記録媒体上のオブジェクトと前記オブジェクトの管理情報をアクセス可能な記録媒体制御部と、前記オブジェクトを外部装置と送受信する送受信部と、前記送受信部を介して、前記オブジェクトを識別する際に、前記記録媒体上における前記オブジェクトの管理情報の論理ロックアドレスを含む識別情報を用いる制御部と、を備える。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

本発明の電子機器は、上記識別情報を入力としてオブジェクトにアクセスする場合、上記識別情報をから、該当するオブジェクトの管理情報が記述されている記録媒体上の論理ロックアドレスを直接算出することで、ファイルシステムを介してオブジェクトの検索処理を実行することなく該当するオブジェクトを参照することが可能になるため、該当するオブジェクトのファイルシステム上の配置に依存して応答性が悪化することのない、軽快なアクセス性能を得ることができる、という利点がある。